

総合観光学会会報 第41号

2023（令和5）年7月31日発行

発行人 大江靖雄

編集人 東 徹

[事務局]

〒352-8558

埼玉県新座市北野 1-2-26 立教大学観光学部 東研究室

(E-mail) azumat@rikkyo.ac.jp

【2022年度全国学術研究大会開催の報告】

2023年11月12日（土）・13日（日）、2022年度全国学術研究大会が日本観光学会と合同で開催されました。コロナ禍のため、ここ数年オンラインでの開催が続いておりましたが、今回は東京農業大学世田谷キャンパスを会場に
対面での開催となりました。

[プログラム]

統一テーマ:「コロナ禍後の観光～課題と展望～」

【11月12日（土）】

日本観光学会	総合観光学会
12:45 受付開始（1号館2階） 13:00～13:50 理事会（223教室）	12:45 受付開始（1号館2階） 13:00～13:50 理事会（222教室）
14:00～15:40 統一論題研究報告（231教室） 司会：角本 伸晃（実践女子大学） 開会挨拶 大江 靖雄（東京農業大学） 基調報告 日本観光学会会長 神頭 広好（愛知大学） 基調報告 総合観光学会会長 大江 靖雄（東京農業大学） 研究報告 「レジリエントな観光——観光教育のために」 山下 晋司（東京大学）・岩原 絃伊（聖心女子大学） 「マイクロツーリズムと近郊農業振興」 中村 智彦（神戸国際大学）	
15:40～16:00 休憩	
16:00～16:50 会員総会（231教室）	16:00～16:50 会員総会（222教室）
16:50 閉会予定	

【11月13日（日）】

第1会場（231教室）	第2会場（242教室）
<p>10:30～12:30 【第1分科会】</p> <p>司会：花井友美（帝京大学）</p> <p>「歴史的市街地であるならまちの再生について－カフェと雑貨店の出店の変遷及び町家の利用を中心に－」 小村 弘（大阪府立大学（院）博士後期課程）</p> <p>「文化産業財の有効価値に着目した観光産業のCSRについての一考察～福島県下郷町「大内宿」を事例として～」 劉 秀秀（日本経済大学（院）博士後期課程） 西嶋 啓一郎（第一工科大学院）</p> <p>「マレーシアの国内観光の近年の動向：成長の背景と地域格差の分析」 宇高 雄志（兵庫県立大大学）</p> <p>「スマホアプリを活用した地域振興と観光コンテンツ活用への可能性」 三橋勇太（石巻専修大学）</p>	<p>10:30～12:30 【第2分科会】</p> <p>司会：須佐淳司（就実大学）</p> <p>「兵庫県下におけるユニバーサルツーリズムの推進について」 中村 敏（芸術文化観光専門職大学）</p> <p>「ユニバーサルツーリズムに関する一考察－「五感で感じる観光」をテーマとする着地型観光商品造成のためのフィールドワークより－」 一井 崇（富山国際大学）</p> <p>「ネオ内発的発展論からみたワイン産業に関連する地域実態と観光の可能性－愛媛県の小規模ワイナリーを事例に－」 辻 有美子（大阪市立大学（院）博士後期課程）</p> <p>「地域産業を活用した観光振興とインバウンドとアウトバウンドの好循環創出－岐阜県のインバウンド戦略と実践を事例に－」 桑原佐知子（早稲田大学アカデミックリサーチ） 池上重輔（早稲田大学）</p>
12:30～13:30 昼食休憩	
<p>13:30～15:40 【第3分科会】</p> <p>司会：鈴木涼太郎（獨協大学）</p> <p>「SDGsに関する企業のリスク・チャンス認識度」 麻生憲一（帝京大学）</p> <p>「混雑発生下での観光関連施設の最適な料金設定－品質による価格差別モデルの応用－」 二替 大輔（奈良県立大学） 麻生憲一（帝京大学）</p> <p>「観光実践におけるSDGsの導入視点に関する一考察」 天野景太（大阪公立大学）</p> <p>「新型コロナウイルス禍の免税店の現状と課題－北海道での実態調査から－」 河本 光弘（札幌国際大学）</p> <p>閉会挨拶</p>	<p>13:30～15:40 【第4分科会】</p> <p>司会：一井 崇（富山国際大学）</p> <p>「観光資源としてのミュージアム－教育旅行での活用を例に－」 湯澤 真（NPO 法人ウォークラボ札幌）</p> <p>「ダークツーリズムと Dark Tourism の間隙」 井出 明（金沢大学）</p> <p>「COVID-19 前後の航空機利用者数の推移－北陸3空港の分析－」 倉本啓之（金沢大学（院）博士後期課程） 井出 明（金沢大学）</p> <p>「45年間の函館市観光入込客数の推移から」 奥平 理（北海道教育大学函館校）</p> <p>閉会挨拶</p>
16:00 閉会予定	

【2022 年度第 2 回理事会の報告】

2022 年 11 月 12 日（土）、2022 年度第 2 回理事会が東京農業大学で開催されました。

[報告事項]

1. 活動報告ならびに会務報告（事務局）

事務局より、2021 年度活動状況（会報第 40 号に記載済）、ならびに年会費の納入状況等につき報告。

2. 『総合観光研究』第 21 号の編集・発行について（編集委員長）

編集委員長より、発行スケジュールにつき報告（11 月末日原稿締め切り、3 月末刊行予定）。

3. 日本観光学会との合流に向けた進捗状況（会長）

- ・会長より、2022 年 8 月 14 日（土）にオンラインで合流準備委員会を開催し、主に合同大会につき協議した旨、報告。

[協議事項]

1. 二学会合流に向けた会員資格の移行について

- ・2023 年度より日本観光学会と合流することに伴う会員資格の移行について協議が行われた。
- ・事務局より、合流に向けて全会員の意向調査を実施したい旨、提案。
- ・事務局より提案のあった「会員意向調査」の実施につき承認（※議事として承認）。

[その他]

意見交換等

【2022 年度会員総会の報告】

2022 年 11 月 12 日（土）、2022 年度会員総会が東京農業大学で開催されました。

[報告事項] 上記理事会での「報告事項」および「協議事項」につき報告。

[議事] なし。

[協議事項・その他] 意見交換等。

【2023 年度第 1 回理事会（最終理事会）の報告】

2023 年 5 月 13 日（土）、2023 年度第 1 回理事会（最終理事会）が東京農業大学世田谷キャンパスで開催されました（オンラインとのミックス型で開催）。

[報告事項]

1. 2022 年度活動報告等（事務局）

- ・理事会開催：第 1 回：2022/6/11（オンラインで開催）、第 2 回：2022/11/12・13（東京農業大学で開催）
- ・2022 年度全国学術研究大会を日本観光学会と合同で開催（2022/11/12・13、於、東京農業大学）
- ・会報発行：第 40 号（2022/8/1）

2. 学会誌の刊行について（編集委員長）

- ・『総合観光研究』第 21 号（最終号）を発行（2022/3/31）
- ・事務局より、第 21 号を国会図書館に納本（東京・大阪分として 2 冊）するほか、立教大学新座図書館、および（公財）日本交通公社・旅の図書館に寄贈することを報告。

3. 日本観光学会との合流にかかわる意向調査の結果報告（会長・事務局）

- ・2月に行った意向調査ならびに4月に入って行った追加調査の結果、二学会の合流に伴う日本観光学会への会員資格移行対象者（本人の意向があり、かつ年会費納入要件を満たしている会員）は 28 名、内既に日本観光学会の会員である者を除く移行会員数は 15 名となることを報告。

4. その他（意見交換等）

[議 事]

1. 2022 年度決算

事務局より決算報告を受け、これに対する監査報告が行われた（小沢監事）。

審議の結果、提案通り承認。

[2022 年度決算]

[収入]		
前年度繰越金	¥1,617,380	22 年度末預金残高 ¥1,582,770 事務局手許現金 ¥34,610
年会費	¥244,000 ¥36,000	2023 年 3 月 31 日までの入金 2023 年 4 月 1 日以降の入金
大会残金	¥0	農大大会
受取利息	¥12	預金利息
その他収入	¥0	
収入計)	¥1,897,392	
[支出]		
印刷費	¥229,900 ¥229,075	学会誌第 20 号 学会誌第 21 号
郵送費	¥84,762 ¥21,750	2023 年 3 月 31 日までの支出 2023 年 4 月 1 日以降の支出
委託料	¥0	
事務用品費	¥4,730	文房具類等
複写費	¥9,880	コピー代（会報等）
手数料	¥440 ¥490	振込手数料（2023 年 3 月 31 日までの支出） "（2023 年 4 月 1 日以降の支出）
謝金	¥2,140 ¥7,840	J-STAGE 登録作業（2023 年 3 月 31 日までの支出） "（2023 年 4 月 1 日以降の支出）
大会開催費	¥0	
その他支出	¥20,000	※5 月 13 日以降の支出（会報発行等）
支出計)	¥611,007	
[差引合計]	¥1,286,385	日本観光学会との合流に伴う資産移行
[学会資産]		
預金残高	¥1,285,897	2023 年 5 月 10 日時点での口座残高
事務局手許現金	¥488	5 月 13 日以降の予備費支出後の金額（見込み）
合計	¥1,286,385	日本観光学会との合流に伴う資産移行（見込み）

学会の決算を詳細に監査いたしました。その結果、「適正に執行されていることを確認いたしました。」

以上、ご報告いたします。

監事 小沢 健市

4. 2023 年度暫定予算

二学会合流に伴う残務整理のため、若干の必要経費を要するため、¥20,000 を暫定予算扱いとして決算書の「その他支出」としてあらかじめ計上しておきたい旨、事務局から提案。審議の結果、承認。

[協議事項・その他]

意見交換等

【会長挨拶】

日本観光学会との合流についてのご報告

総合観光学会は、2023 年 4 月より日本観光学会と合流いたしました。

これまで、学会活動の活性化を図るべく両学会で合流に向けて意思統一を図り、2022 年 11 月に両学会合同大会を東京農業大学で開催し、合流に向けて準備を進めてきました。総合観光学会は、この合流により、学会としての使命を終えることになりました。

創立以来、これまでの総合観光学会へのご支援とご協力に対しまして、心から感謝申し上げます。総合観光学会は、私個人としても研究者としての成長をさせていただいてきました思い入れのある学会であります。しかし、残念ながら、近年は学会活動の継続も危惧される状況となり、合流により会員サービスの維持や会員活動の活性化を図ることが必要との判断に至り、会員の皆様の賛同を得て日本観光学会との合流を進めてきた次第です。

今後は、日本で最も歴史ある日本観光学会として、我が国における観光研究の発展、そして我が国観光研究の国際的な認知向上に向けて両学会の会員が力を合わせて取り組む所存でございます。

学会誌につきましても、機関誌『総合観光研究』は、2023 年 3 月刊行の第 21 号をもって終刊となります。最終号となる本号は、通常の会員投稿論文に加えて、これまでの総合観光学会の活動を総括する特集号として編集されております。これまで刊行された『総合観光研究』は、J-STAGE のサイトにて、すべての掲載論文が、オンライン・無料で閲覧・ダウンロード可能となっておりますので、今後とも広く活用されることを期待しております。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/sogokanko/list/-char/ja>

合流後の機関誌は『日本観光学会誌』となりますので、今後の会員の成果は、こちらをご覧ください。会員の皆様の研究成果を、今後はこちらで拝見できることを楽しみにしております。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/nihonkanko/-char/ja>

最後になりますが、これまで本学会の活動にご貢献・ご協力いただいた会員および役員の皆様にあらためて心からお礼を申し上げますとともに、合流後の皆様のご健勝とご活躍をお祈りして、本学会の閉めのご挨拶といたします。

2023 年 3 月 31 日

総合観光学会会長 大江靖雄

【お知らせ】

- ・総合観光学会は、2023年度から日本観光学会と合流いたしました。
これに伴い、会員資格を移行されるのご意向をお示しいただいた皆様には、今後、全国大会の開催、学会誌の原稿募集、年会費の納入等々につき、「日本観光学会事務局」よりご連絡させていただきます。
- ・合流以降も、当面の間「総合観光学会の公式ホームページ」は閲覧可能です。下記 URL より引き続きご利用いただけます。

URL (<https://sogokanko.jimdofree.com/>)

※Google 等で検索される場合、検索結果として「旧ホームページ」が表示されることがありますので、お間違えのないよう URL をご確認の上ご利用ください。

- ・総合観光学会の学会誌『総合観光研究』は、引き続き、J-stage で閲覧可能です。ご利用ください。

【総合観光学会事務局】

〒352-8558

埼玉県新座市北野 1-2-26 立教大学観光学部

東 徹

(E-mail) azumat@rikkyo.ac.jp